

公益社団法人
岡山青年会議所広報誌



暖流

公益社団法人岡山青年会議所
Since 1951

妹尾 愛希

岡山青年会議所 第75代理事長

岡山市・岡山青年会議所が描く
まちづくりのビジョンとは

特別対談

太森 雅夫

岡山市長

SPECIAL

岡山のまちJ1の舞台へ

TOPICS1

岡山青年会議所とは

TOPICS2

2025年事業計画



2025年の岡山青年会議所のスローガンは

VISION ービジョナー

「VISION」というスローガンには、夢を具体的な目標に落とし込み、それを実現する力を込めています。
青年経済人である私たちは、この「VISION」を胸に、新たな価値を創造し、未来を切り拓いていきます。
ロゴデザインに描かれた大小さまざまな模様は、メンバー一人ひとりを表しています。
それぞれが目指す姿、意欲、成長の段階は異なりますが、
均等ではなくとも、個性や成長を活かし合い、力を合わせて理想の姿を築く姿勢を表現しています。
「VISION」を共通の指針として、次世代と地域の未来に向けた新たな一歩を共に踏み出しましょう。



homepage address

<https://www.okjc.org>



facebook



Instagram



岡山JCではホームページでも情報を発信しております。事業や運動のご報告など随時更新しております。
お気軽にホームページをご覧ください。

岡山青年会議所

検索

暖流

公益社団法人岡山青年会議所
Since 1951

次号は令和7年7月発行予定です。

発行日
発行

令和7年1月
公益社団法人岡山青年会議所
〒700-0985 岡山市北区厚生町3丁目1番15 岡山商工会議所ビル6階
TEL 086-223-0938 FAX 086-225-0500 email info@jci-okayama.com
発行責任者
公益社団法人岡山青年会議所
会員拡大広報委員会
委員長：木村勝也
大田武勇・山崎洋介・大田原基敬・黒田勇人・増田亮治・青山あゆみ

岡山市・岡山青年会議所が描く まちづくりのビジョンとは

大森雅夫岡山市長と、妹尾愛希理事長が、岡山芸術創造劇場ハレノワを中心に変わりつつある
まちの姿や、これからの事業について、意見を交換しました。

大森
雅夫

岡山市長



岡山青年会議所第75代理事長

妹尾
愛希

岡山芸術創造劇場ハレノワから広がる、新たなまちの賑わい

妹尾愛希（以下、妹尾） 岡山芸術創造劇場ハレノワが開業してから1年が経ちました。様々な公演が行われ、新たな人の流れが生まれたと感じます。市長から見ても岡山市にどのような影響があったのか、お聞かせいただけますでしょうか。

大森雅夫（以下、大森） まずハレノワができたことによって、オペラやミュージカル、コンサートなど様々な公演を見たいという人が県内外に増えましたよね。これによってハレノワが「目的的地化」しているということ。そして公演が終わった後は、表町商店街周辺やハレまち通りに繰り出して食事を楽しむこともできる。現にハレまち通りでは約30店舗、表町商店街でも16店舗の新規出店があり、賑わいが増しています。やはりまちが変わっていくためには刺激が必要だと感じます。そういった面ではハレノワは上手くいっているのではないのでしょうか。

妹尾 ハレノワができたことによって『機会の提供』をいただいたのではないかと感じました。開催されている公演を観ることで、「流の文化・芸術に触れることができるのはもちろん、市民の方も発信することができますよね。それこそ2024年うらじゃで、演舞場として利用させていただきました。開催後、出演してくれた踊り子の皆さんと話をさせていただいたのですが、「ハレノワで踊れたのが、本当に良かった！」とおっしゃられていたのが印象的でした。大森 そう言っていると、ありがたいです。

暖流

公益社団法人岡山青年会議所
Since 1951

暖流発行にあたり

あけましておめでとうございます。

岡山青年会議所の理事長として、皆様に2025年の新年のご挨拶を申し上げる機会をいただき、心より感謝申し上げます。岡山青年会議所設立趣意書には、「青年は人類社会発展の原動力」であり「郷土の産業経済的発展」「日本経済の再建に携わる」と記されています。この創始の精神は、我々が守り続けるべき「ひとづくり」の真髄であり、未来への希望を託した「まちづくり」の指針そのものです。先人たちの熱い想いと志は、今もなお我々の背中を押し、未来を照らす灯火となっています。

現在の岡山青年会議所は、先輩方のご尽力とメンバーの拡大活動への熱意によって、大きな仲間の輪が広がり続けています。多くの仲間にも恵まれたからこそ、これからさらに地域に求められる組織に進化をしていく時です。岡山青年会議所のメンバーなら大志を抱き、勇猛果敢に運動を起こすことができると確信しています。先人の方々が大切にしてきた誇りと伝統を重んじ、単に「出席する」のではなく、真に「参加する」ことで未来を創り出す組織であり続けるべきです。

岡山青年会議所創立75周年という節目を迎えた今だからこそ、「おかやま」の地で後世に引き継ぎ続けられる事業を展開していかなければなりません。この新年にあたり、私たちは多くの仲間とともに、厳しさの中にも愛情がある真の一枚岩の組織を築き、岡山青年会議所の新たな時代を切り開くことを誓います。使命感と誇りを胸に、地域社会のために尽力してまいりましょう。皆様のご支援とご協力を心よりお願い申し上げます。

2025年が皆様にとって実り多き一年となることを願っております。

公益社団法人岡山青年会議所
2025年度 第75代理事長

妹尾愛希



妹尾 「ぜひ来年も」という声もありましたので、今後とも連携していければと思います。また話題は変わりますが岡山市のまちづくりの取り組みや施策について、お聞かせいただけますでしょうか。

大森 たとえば2024年、岡山市としては事実上初の待機児童のゼロを達成することができました。保育園の整備や保育士を増やしていくという施策で達成いたしましたが、これは今後も続けていかなければならない。人材が不足していた保育業界に人を供給することで、待機児童問題の緩和につながり、安心してお子さんを預けられるようになった。また別の側面から見ると、新たな保育所や事業所の開設は地域経済の活性化や雇用にもつながり、プラスの効果が生まれているという影響もあります。

妹尾 私の会社でも女性の働き方の変化によって、育児休暇取得後に復帰する人が増えたため影響は大きく感じています。子育てをする女性を受け入れやすい時代になったという、すごくポジティブな変化があったなと思いますね。

大森 また、歴史的資源を核とした地域振興、賑わい創出という面では戦国宇喜多家、宇喜多直家公ですね。戦国時代で商人の家に育ち、いわばゼロからのスタートで50万石近い所領を得た人物というのは宇喜多直家公しかないんです。それが悪人のような扱いをされて、戦国の

岡山の課題解決や賑わいを創出する歴史的資源

三大鼻雄（きょうゆう）と言われている。しかし歴史を紐解いていくと岡山を築き上げた偉大な人物という面も見えてくる。そうした葬られた歴史の中に、素晴らしいものがあるのではないのでしょうか。

妹尾 それこそ温羅の話であつたり、古墳時代の話であつたり、岡山の歴史については以前、大森市長からお聞かせいただきましたね。

大森 そうですね。先ほど話にも挙げりましたが『うらじゃ』は古墳時代、吉備と大和が統治する2頭政治だったのではないかと我々の歴史観を表している祭りだと思っています。また歴史的資源は岡山市中心部だけではなく、宇喜多直家の居城があつた東区であつたり、古墳のある加茂地域であつたり、そういった周辺地域もあわせてプレイアップしていくことになるのではないかと思いますね。

妹尾 それでいえば2025年度は「うらじゃ」が30周年という記念すべき年を迎えます。そして岡山青年会議所75周年という年でもあるので、諸先輩方にも協力をいただいて、今までにないような仕掛けをしていければと考えています。

大森 岡山の経済界も、うらじゃに対しては非常に熱い想いを持っていますからね。

妹尾 いつも、ご支援をいただいて、ありがとうございます。一緒に机を並べて、共に課題に取り組んでくださり、全面的に協力してくださっている

この関係性に、心から感謝しています。

大森 今後とも、一体となって開催していきましょう。よろしく願います。

妹尾 最後になりますが、岡山青年会議所2025年度のテーマとして、「機会の提供」を掲げたいと考えています。私自身が障がいのある子どもを育てていることから、障がいを持つ子どもたちにも何か一つでも貴重な経験をさせてあげたいと考えています。障がいのある子どもたちが参加できる事業や、「うらじゃ」への参加など様々な機会を提供できればと計画しています。そこで岡山青年会議所に対するご期待や、私たちが果たすべき役割について、市長からご助言をいただけると幸いです。

大森 私自身、市長になるまでの間、岡山を離れていたからこそ、今の街に足りないものや、もっとできることがあると感じています。それが私の原動力になっています。いわば『よそ者』だからこそ思いつくアイデアや、失敗を恐れずに挑戦できる『若者』のもつエネルギーが、この街を良い方向に動かしていく力になると思っています。昔と違って現代は、国家のビジョンがかつてほど明確ではなく、組織や個人のビジョンも、必ずしも同じ方向を向かないということはよくありますよね。このような状況の中で岡山青年会議所のような若者だけが集まった組織が、明確なビジョンを示して行動していくことは非常に重要だと思います。

岡山・岡山青年会議所が描く未来のビジョン



妹尾 愛希

Yoshiki Senoo

昭和60年生まれ。平成20年大阪産業大学卒業後、備前信用金庫入庫。平成23年に飛鳥グループ協同組合入社後、令和6年同社理事に就任。公益社団法人岡山青年会議所には平成30年に入会し、令和3年にポジティブインパクト共創委員会（委員長）、令和4年に例会委員会（委員長）、日本青年会議所中国地区岡山ブロック協議会拡大ブランディング会議（議長）、令和5年ひとづくり室（常任理事）、令和6年 連携室（副理事長）を歴任。



大森 雅夫

Masao Omori

昭和29年2月、岡山市に生まれる。昭和52年、東京大学法学部卒業後、建設省に入省。昭和60年熊本県企画開発部企画課長、平成6年建設省大臣秘書官事務取扱、15年内閣府大臣官房会計課長兼内閣官房内閣参事官、20年内閣府政策統括官（防災担当）、24年国土交通省国土政策局長などの要職を歴任し、25年に退官。同年10月に岡山市長に就任し、現在3期目。座右の銘は「借なくば立たず」「天は自ら助くる者を助く」。

J1 昇格を祝し、未来を共に切り開く

ファジアーノ岡山のJ1昇格は、岡山にとって大きな一歩です。私たち岡山青年会議所も、地域とともに新たな時代を築き上げていくことを誓い、引き続きファジアーノ岡山を応援していきます。岡山青年会議所は地域のスポーツ文化を支え、次世代に誇れるまちづくりを応援します。

ファジアーノ岡山、昇格

岡山のまち

おめでとうございます

の舞台へ



©FAGIANO OKAYAMA

ファジアーノ岡山とともに地域を盛り上げる

Q. 活動内容を教えてください。

株式会社ファジアーノ岡山スポーツクラブでは、政田サッカー場をはじめ、岡山ドーム、岡山市内25施設等の指定管理者として社会体育施設を管理運営し、「子どもたちに夢を!」という理念のもと、地域住民が安心してスポーツを楽しめる環境を提供しています。すべての人がスポーツを通じて豊かな人生を送れる場づくりに取り組んでいます。

Q. 岡山青年会議所の団体観戦で、どのような反響がありましたか？

企画例会で団体観戦を行ったことで、初めてスタジアムに来た方や家族連れの方々が、岡山のプロスポーツクラブの魅力を肌で感じ、好きになってもらえたことが本当に嬉しかったです。また、知ってはいけれど、実際に来るきっかけがなかった方々にも良いきっかけとなったことも嬉しく思います。応援を通じてメンバー同士の絆も深まり、「岡山のチームをみんなで応援しよう」という気持ちが一つになった一日でした。私自身もメンバーが楽しんでいる姿を見て、改めてこの仕事をしていてよかったと思いました。

Q. 活動に対する想いを聞かせてください。

私たちの仕事は、出会う人に自分のファンになってもらい、クラブのファンになってもらうことです。一人でも多くの方に応援の輪を広げることが目標です。岡山青年会議所に入会して仲間と出会い、その輪が広がっていく中で、入会して本当に良かったと感じています。



株式会社ファジアーノ岡山スポーツクラブ
社長付 特命プロジェクトリーダー

公益社団法人岡山青年会議所
まちづくり室常任理事

久保 和裕

ファジアーノ岡山、 J1 昇格おめでとう！

岡山青年会議所は、地域の発展を支えるためにさまざまな活動を行っています。中でも、ファジアーノ岡山との連携は深く、地域の子供たちにスポーツを通じて貴重な体験を提供する「キッズスポーツ事業」では、サッカー体験コーナーを開催していただきました。当日はファジアーノ岡山のコーチが直接指導してくださり、多くの子供たちが楽しみながらスポーツの魅力をを感じる機会となりました。また、2024年4月の企画例会では、現役メンバーとその家族でファジアーノ岡山の試合観戦を実施しました。試合前にはピッチ内での記念撮影を行い、選手たちの熱いプレーに感動しました。当日は観戦を通じて一丸となって応援し、メンバー同士の結束力もより深まりました。



〈岡山青年会議所特設ブース〉



〈キッズスポーツの写真〉



岡山青年会議所ってどんな組織？

Numbers of JCI Okayama

数字で見る岡山青年会議所(2024年実績)

地域との繋がり



市民参加

延べ **36** 万人

「うらじゃ」の**35万人**に加え、事業や講演などに延べ**11,000人**が参加し、多くの市民とともに地域の未来を考えました。

活動内容



年間事業数

10 件以上

地域に根ざした多様な事業を年間10件以上企画・実施しています。子どもたちの未来のために行う青少年育成事業、未来のおかやまを創るためのまちづくり事業、また、教育関連事業、行政支援事業など、2024年には市民の皆さまとともに多くのイベントを成功させました。

活動主体



平均年齢

35.4 歳

約100名の活発な青年経済人が中心となり、地域の発展に貢献するために活動しています。

岡山青年会議所とは

全国に約700ある青年会議所の中で9番目にできた青年会議所です。

20歳から40歳までの青年経済人が現在100名以上所属しており、おかやまに住民らす人々や

子ども達の未来のために青少年育成事業、まちづくり事業、

教育関連事業、行政支援事業など社会貢献活動を行っている団体です。

JC運動の主体は常に「地域」です

3つの青年会議会が協力して成り立っています

国際青年会議所

JCI

Junior Chamber International

米国ミズーリ州セントルイスの小さな青年社会活動から生まれ、全米、そして世界へと広がっていったJC運動の国際機関であり、世界最大の青年団体。日本は1951年に加盟。

日本青年会議所

NOM

National Organization Member
地区協議会(全国10地区)
ブロック協議会(全国47ブロック)

全国的レベルの運営についてLOMと協働し総合調整にあたる。国家青年会議所として政策提言を行い、国政的には国を代表する。ブロック、地区、NOMはすべてLOMからの出向者によって構成される。

各地青年会議所

LOM

Local Organization Member

都市ごと、あるいは市部・町村が集まった形で組織され、すべての会員はLOMに所属する。

全国のメンバーが、自ら暮らすそれぞれの地域から、国を考え、世界を見つめています。

出身の著名人

◇安倍晋三 ◇麻生太郎 ◇小泉純一郎 ◇小渕恵三
◇ジョン・F・ケネディ ◇ビル・ゲイツ ◇ビル・クリントン

世界に広がるJC

国際青年会議所(Junior Chamber International)は、125カ国に17万人以上の会員で構成されており、積極的な市民となり、社会経済開発、国際協力、善意と理解への取り組みに参加することを奨励することを目的に運動を広げています。

青年会議所とは

『明るい豊かな社会』の実現を理想とし、次代の担い手たる責任感をもった20歳から40歳までの指導者たらんとする青年の団体です。

設立の歴史

自由な社会と経済発展を実現し、新しい社会をリードするにふさわしい人材育成を目的として、1915年にアメリカ・ミズーリ州セントルイスに生まれた小さな青年活動グループから始まったJC運動は、その活動が認められ、アメリカの社会的活動を担う主要な青年団体へと発展していきました。そして、1951年に「新しい日本の再建は我々青年の仕事である」という覚悟のもと日本青年会議所が設立されました。

JCI Okayama Projects

岡山青年会議所が過去に実施した事業



桃ボート

郷土「おかやま」の魅力を最大限に掘り起こし、県内外にその魅力を広めることを目的とした「どんぶらこプロジェクト」。岡山が誇る桃太郎伝説を市民に親しんでもらうため、桃ボートを製作し、後楽園に浮かべました。現在でも土日には多くの方々に利用され、岡山城との美しい眺めが楽しめる観光資源として、地域の人々に愛されています。



池田動物園

「いけだどうぶつえん活性化プロジェクト」の一環として、2021年に地域活性化のためにキリンを寄贈しました。その後、池田動物園で毎年開催されている春の一大イベント「動物たちと花フェス」には継続的に参加していましたが、2024年には新たなイベント「わくわくフェスティバル」を開催しました。また、池田動物園の新たな憩いの場「みらいひろば」を寄贈し、ご家族や遠足で訪れる人々のために、お弁当を食べる広場を提供しました。



桃太郎像

1960年に岡山青年会議所が寄贈した初代桃太郎像が長年倉庫に眠っていました。そこで、岡山空港という岡山の玄関口に再度寄贈し、新たな観光スポットを作るとい事業を行いました。「岡山桃太郎空港」の名前にぴったりのシンボルとして、空港を訪れる人々に岡山の歴史や文化を感じさせる新たなスポットが誕生しました。



防災事業

災害に対する備えや対応についての知識を広めるため、岡南飛行場にて防災ブース(展示・体験)やセミナーを開催しました。また、空飛ぶクルマやヘリコプター、パトカーなどの車両展示も行い、地域の防災意識を高める活動を展開しました。

2025年度 75代理事長紹介



公益社団法人岡山青年会議所
2025年度 第75代 理事長

飛鳥グループ協同組合 理事

妹尾 愛希

Yoshiki Senoo

- 【学歴】
2004年 3月 香川誠陵高等学校 卒業
2008年 3月 大阪産業大学 卒業
- 【職歴】
2008年 4月 備前信用金庫 入庫
2011年 4月 飛鳥グループ協同組合 入社
2024年 4月 同社 理事 就任
現在に至る
- 【JC歴】
2018年 [岡山青年会議所]
前期入会
パワーブランド確立委員会(委員)
2019年 [岡山青年会議所]
岡山JCブランディング委員会(委員)
役員選挙管理委員会(委員)
理事長セクレタリー
2020年 [岡山青年会議所]
総務委員会(副委員長)
[日本青年会議所]
日本JC中国地区協議会
中国地区コンファレンス運営会議(委員)
2021年 [岡山青年会議所]
ポジティブインパクト共創委員会(委員長)
2022年 [岡山青年会議所]
例会委員会(委員長)
[日本青年会議所]
中国地区岡山ブロック協議会
拡大ブランディング会議(議長)
2023年 [岡山青年会議所]
ひとづくり室(常任理事)
2024年 [岡山青年会議所]
連携室(副理事長)



「夢」と「希望」があふれる郷土おかやまへ
—— 共に成長し、未来を築こう。

TOPICS2 公益社団法人岡山青年会議所 2025年度

年間事業フレーム

